

静岡赤十字病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

承認番号 研究課題名	NO 2024-35 末梢血管疾患診療に関する多施設共同観察研究
当院の実施責任者及び 職名	静岡赤十字病院 血管外科 部長 新谷 恒弘
多機関共同研究の場合 研究代表（責任）者	なし
研究期間（西暦）	当院倫理委員会承認後～2028 年 3 月 31 日
対象期間（西暦）	2025 年 4 月 1 日～2028 年 3 月 31 日
研究の目的	当科で扱う末梢血管疾患は、心臓内・頭蓋内以外の全ての血管（頸部、上肢、胸部、腹部、下肢）が対象となる。各部位における診療の対象となる疾患は、多岐にわたる。これには、動脈疾患では、動脈瘤（胸部大動脈瘤、腹部大動脈瘤、末梢動脈瘤など）、末梢動脈疾患（急性動脈閉塞症、閉塞性動脈硬化症、Buerger 病など）、動脈解離、腹部内臓動脈疾患（動脈瘤、狭窄、閉塞症など）、医原性動脈疾患（仮性動脈瘤、感染性動脈瘤）などが、静脈疾患では、下肢静脈瘤、深部静脈血栓症、門脈圧亢進症などが該当する。その他、動静脈奇形、膝窩動脈捕捉症候群、膝窩動脈外膜囊腫、大動脈炎症候群、血管 Bechet 病、胸郭出口症候群、血管外傷、臓器移植時/血管合併切除時の血行再建などが該当する。近年、医療の進歩に伴い、末梢血管疾患に対する診断方法や治療方法（手術療法、薬物療法など）の選択肢は極めて豊富になった。例えば、画像診断の進歩に伴い、従来あらゆる血管疾患で標準的に行われていた診断的血管造影検査は、CT や MRI、超音波検査など低侵襲な検査に置き換わってきている。さらに治療法においては、従来の血管置換術やバイパス術に加えて、近年ではカテーテルを用いた血管内治療が増加傾向にあり、治療戦略が大きく変化しつつある。 しかし、これらの急速に進歩をとげつつある診断、治療については、その有効性や成績が未だ十分に評価されていないため、不適切な適応のもとに行われ、患者に重大な不利益をもたらす事象も発生している。末梢血管疾患に対する標準的診断、治療方法の確立のために、データを集積、解析して、これらの妥当性・有効性を検証することは急務であり、研究機関の使命であると考える。

研究の内容	静岡赤十字病院にて経験した末梢血管疾患について、後向き観察研究を行うことで疾患の特徴を明らかにし、末梢血管疾患に対する診断方法や、手術を含めた治療方法など、標準的診療の確立を目指す。
個人情報の取扱い	研究成果を国内、海外の学会や論文として発表させていただくことがありますが、個人の特定につながる病歴などの要配慮個人情報は一切公表いたしません。
問い合わせ先 (拒否等受付窓口)	【研究担当者】 所属：静岡赤十字病院 血管外科 氏名：新谷 恒弘 住所：静岡県静岡市葵区追手町 8-2 電話：054-254-4311